



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

資料 4

# 疾患領域に注目したマネージメントについて プレコンセプションケア研究の活性化について

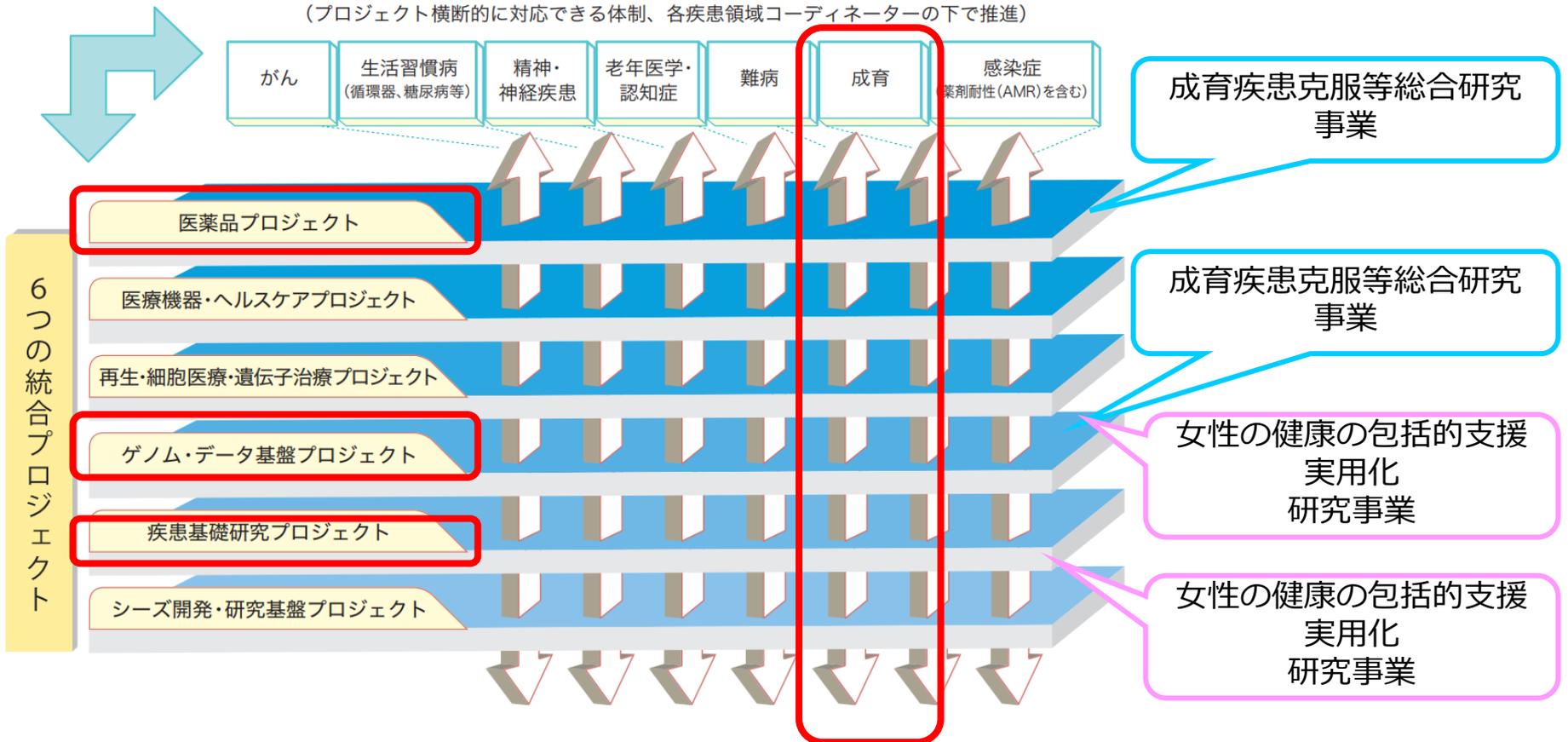
令和5年12月15日

日本医療研究開発機構

ゲノム・データ基盤事業部医療技術研究開発課

# 成育疾患領域

6つの統合プロジェクトの成果を最大化するため、事業横断的に特定疾患を柔軟にマネジメント  
 (プロジェクト横断的に対応できる体制、各疾患領域コーディネーターの下で推進)

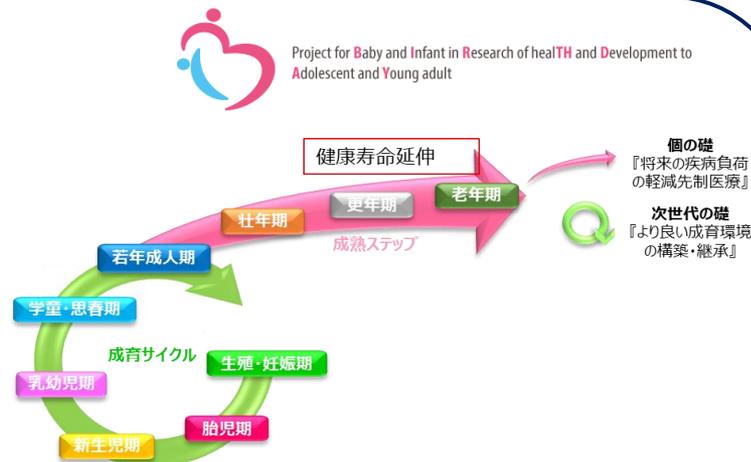


DC	和田 和子	大阪府立病院機構大阪母子医療センター 主任部長
----	-------	-------------------------

# 成育事業と女性事業の共通テーマ

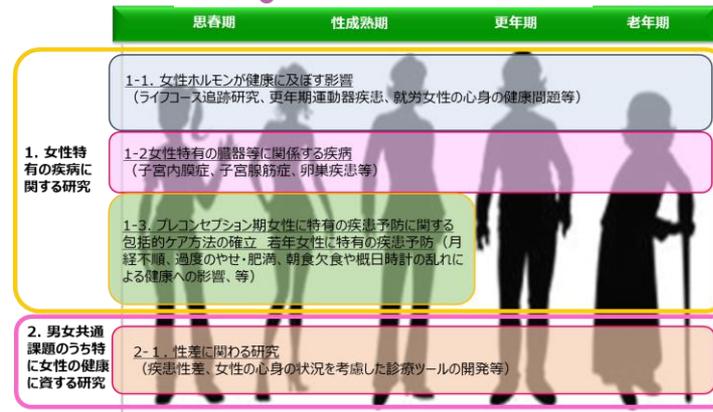
## 成育疾患克服等総合研究事業—BIRTHDAY

受精・妊娠から胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、性成熟期、生殖期を経て、次の世代を創出し育成するサイクルは、国の未来を担い、生涯の健康の礎を成すための重要なライフステージです。近年、社会及び家庭環境の変化等により、このライフステージにおける解決すべき健康課題は急激に増加し、多様化しています。本事業では、科学の急速な発展に伴い生じている倫理・社会的な問題も視野に入れ、**子どもの健全な育成を保障する持続可能な社会基盤の強化のため、Biopsychosocialなアプローチにより、疾患や障害の予防・診断・治療法の開発、母性及び児童の健康の保持増進等に資する研究開発を推進。**



## 女性の健康の包括的支援実用化研究事業

近年の女性の就業等の増加、晩産化・少産化、平均寿命の伸長等に伴う様々な問題が存在し、現代の女性の健康に関わる問題は大きく変化しています。一方、近年成立した「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」にもあるように、女性の個性と能力を十分に発揮し、職業生活において活躍することが期待されています。本事業では、女性がより良い生涯を送るために必要な健康を提供できるような社会づくりを視野に入れ、人生の各段階に応じてその心身の状況が大きく変化する**女性の一生のステージごとの健康や疾患について、心身における性差も加味し、かつライフステージの軸で多面的に包括的にとらえ、病態の解明と予防および治療に向けた研究開発とその実用化を推進。**



事業共通のテーマに「プレコンセプションケア」を設定

# プレコンセプションケアとは

プレ (pre) は「～の前の」

コンセプション (conception) は「受精・懐妊」

⇒プレコンセプションケアは「妊娠前の健康管理」

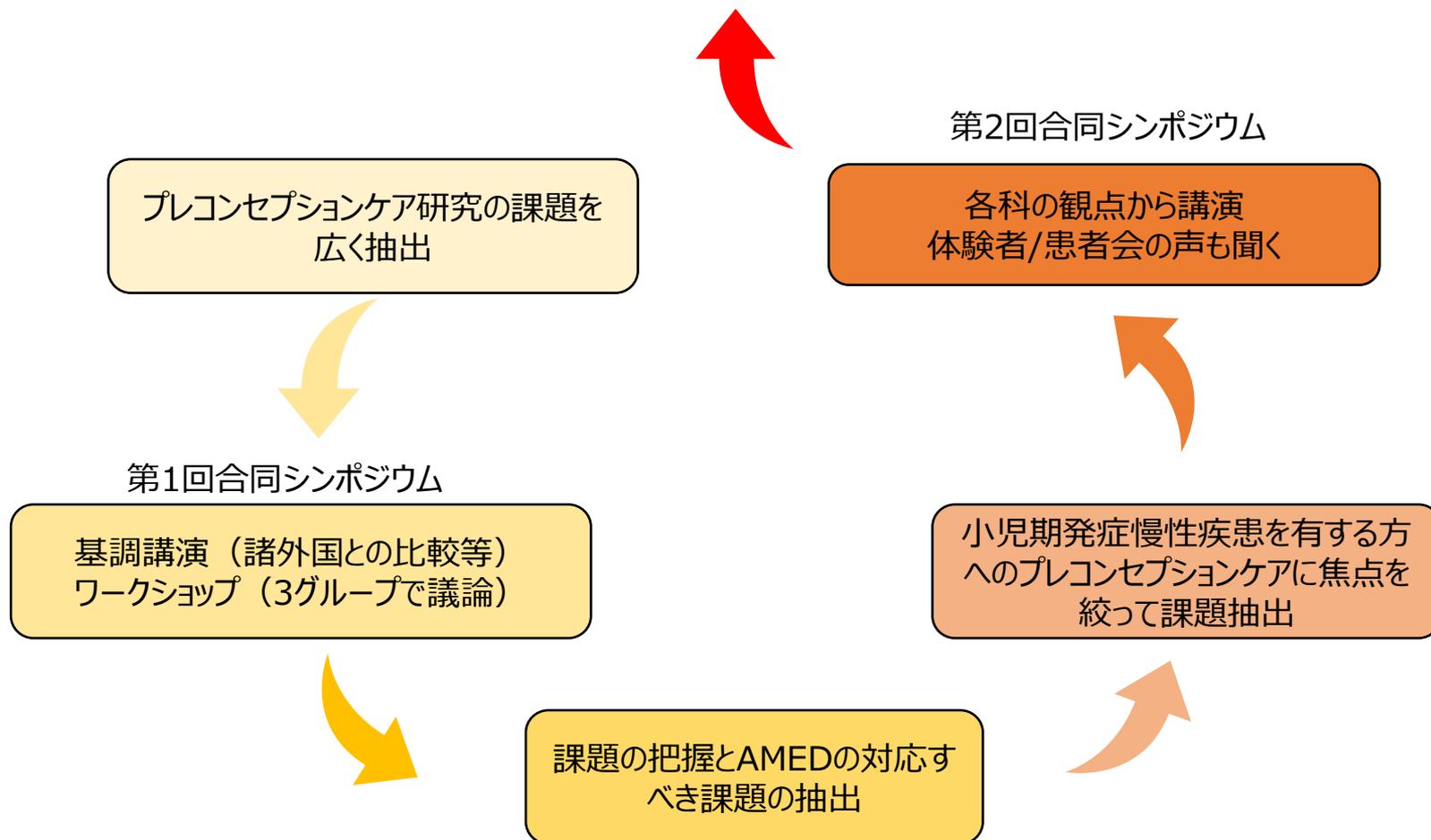
WHOの定義は「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」



- 若い世代の健康を増進する
- 健全な妊娠・出産のチャンスを増やす
- 次世代の子どもたちをより健康にする

# 事業間連携の目的

## プレコンセプションケア研究の活性化



# 第1回合同シンポジウム

「成育疾患克服等総合研究事業」「女性の健康の包括的支援実用化研究事業」合同企画

## 日本の未来のための プレコンセプションケア研究 を考える

**日時** 2022年9月28日（水）14:00～17:00

**会場** オンライン開催

**参加無料** 事前登録制

**申込サイト** [https://krs.bz/amed\\_shikkankiso/m?f=36](https://krs.bz/amed_shikkankiso/m?f=36)



【開会挨拶】（14:00～14:05）

【第一部】基調講演（14:05～15:05）

『プレコンセプションケアについての厚生労働省の取り組み』

向 亜紀/山本 直子（厚生労働省 子ども家庭局母子保健課 / 厚生労働省 健康局健康課）

『わが国におけるフェミノベーションのすすめ』

倉澤健太郎（横浜市立大学 大学院医学研究科 産婦人科学講座）

『諸外国のプレコンセプションケア：保健活動と疫学研究の動向』

前田恵理（秋田大学 大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座）

【第二部】AMEDプレコンセプションケア研究の現状と課題（15:20～16:00）

『学童・思春期から考える健康支援とプレコンセプションケア』

檜垣高史（愛媛大学 大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座）

『妊産能低下予防・妊娠合併症リスクの低減を目指したプレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発』

甲賀かをり（東京大学 大学院医学系研究科 産婦人科学講座）

『小児期発症慢性疾患患者とプレコンセプションケア』

賀藤均（日本小児科学会 移行支援委員会委員長）

【第三部】ワークショップ（16:15～16:55）

学童・思春期のプレコンセプションケア / 若年成人のプレコンセプションケア  
／基礎疾患のある方のプレコンセプションケア

【閉会挨拶】（16:55～17:00）

## 目的

プレコンセプションケア研究で欠けている点、課題を  
広く抽出する



## 方法

- 厚生労働省子ども家庭局母子保健課、健康局健康課のそれぞれから政策的観点での講演
- 本邦と諸外国のプレコンセプションケアの比較
- AMEDで現在支援している課題と支援できていない課題に関する講演
- ワークショップで様々な方へのプレコンセプションケアに関する課題を議論
- 若手研究者を中心に参加を募り、若手研究者の育成も兼ねる（結果的に、40歳代女性研究社の参加者が多く、職業は大半が医師であり、その他は看護師、助産師、大学生がわずかに参加して頂いた）

# 第1回シンポジウムで抽出された課題

小児科

産婦人科/内科

学童

思春期

若年成人

小児期発症慢性疾患を有する方へのプレコンセプションケア



妊娠前管理

医療系外部発信ツールの開発

不妊治療

看護師/助産師の協力

医師が教育現場へ参入

プレコンの概念の浸透

学校でのプレコン教育

養護教諭等の教員/教育委員会の協力

医療現場

社会

# 第2回合同シンポジウム

## 目的

小児期発症慢性疾患を有する方へのプレコンセプションケアにおける課題を抽出する

## 方法

- 心疾患と腎疾患を有する方へのプレコンセプションケアに関して、小児科、産婦人科、内科の各観点から講演
- 体験者や患者会にも参加頂き、患者の視点からプレコンセプションケアの課題を講演
- 日本学校保健会、こども家庭庁からも小児期発症慢性疾患を有する方への観点を含めて講演
- 医師、看護師、助産師、臨床心理士・管理栄養士等の医療従事者や養護教諭含めた教員、企業の方などに参加頂けるよう、学会、雑誌、HP等を通してより広く周知

「成育疾患克服等総合研究事業」「女性の健康の包括的支援実用化研究事業」合同企画

## 日本の未来のための プレコンセプションケア研究 を考える 2023

Final announcement

### ～心疾患と腎疾患の方へのプレコンセプションケア～

日時	2023年9月16日(土) 13:00～17:00
会場	トラストシティ カンファランス・丸の内 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館11階
参加費	無料(事前登録制)
HP・申込サイト	<a href="https://www.amed.go.jp/news/event/202300916.html">https://www.amed.go.jp/news/event/202300916.html</a>



#### 【AMED研究成果から考えるプレコンセプションケア】

- 周産期にある家族への共有意思決定支援とプレコンセプションケア  
/有森 高子(新潟大学 歯学部保健学系 教授)
- ネオ・セルフ抗体による不妊症、不育症、産科疾患のプレコンセプションケア  
/山田 秀人(医療法人 済仁会 手塚源仁会病院 不育症センター センター長)
- 摂食リズム異常による生殖機能低下とプレコンセプションケア  
/藤原 浩(金沢大学 医歯保健研究域医学系 産科婦人科学 教授)
- 女性コホート研究とライフコースにおけるプレコンセプションケア  
/林 邦彦(群馬大学 教育・評価担当理事、副学長)

#### 【こども政策、学校保健からみるプレコンセプションケア】

- プレコンセプションケアに関するこども家庭庁の取組  
/向 聖紀(こども家庭庁 成育局 母子保健課)
- 学校における保健教育の重要性  
/弓倉 整(日本学校保健会 専務理事)

#### 【腎疾患の方へのプレコンセプションケア】

- 小児期発症慢性腎臓病(CKD)患者のプレコンセプションケア  
/服部 元史(東京女子医科大学 腎臓小児科 教授)
- CKD患者さんへのプレコンセプションケアの実践  
/内田 啓子(真仁会横須賀クリニック、日本腎臓学会 監事)
- 慢性腎臓病(CKD)に対する preconception care  
/關 博之(埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 客員教授)

#### 【心疾患の方へのプレコンセプションケア】

- 移行医療に携わる小児循環器医が考えるプレコンセプションケア  
/山岸 敬幸(慶應義塾大学医学部 予防医療センター 特任教授)
- 循環器内科医師の立場からみたプレコンセプションケアの重要性  
/石津 智子(筑波大学医学医療系 循環器内科 准教授)
- 心疾患を有する女性のプレコンセプションケア、実際と課題点  
/吉松 洋(国立循環器病研究センター 産婦人科 部長)

★患者会(全国心臓病の子どもを守る会)、体験者からの御講演もごぞいます★



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development



## 第2回シンポジウムで抽出された課題

- 患者妊婦の数、分娩帰結、分娩後の長期予後等、不明点も多い。本邦のlarge scale dataの集積が必要
- 妊婦と出生児の長期フォローを可能とするためには、多領域に渡る医療従事者の連携システムの構築が必要
- 医療従事者のプレコンセプションケアの認識不足や10代小児・保護者への適切な情報提供不足（妊娠に伴うリスクだけでなく、分娩後の育児も含め）



### プレコンセプションケア研究の活性化

- 抽出された課題を、2事業（Birthday/Wise）の公募等の事業運営に生かし、その解決に向けたプレコンセプション研究を支援する
- AMED内の他事業やこども家庭庁/厚労省と連携し、プレコンセプションケアの医療研究、政策研究の不足部分を補いながら、本邦におけるプレコンセプションケアの課題解決を目指す